



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

国民健康保険税 来年度の大幅値上げは見送り

11月2日日野市は、国保運営協議会に対して、来年度の国保税率値上げは見送り、課税方式を現行の均等割・平等割・所得割の3方式から、均等割・所得割の2方式にすることにとどめるといった内容の諮問を行いました。

来年度からの国保都道府県化に伴い、値上げが懸念されていたなかで、大幅値上げを見送ったことは、市民の運動の成果です。



課税方式の見直しで、3人以上世帯は値上げに

課税方式の見直しの内容は、来年度から国保が都道府県単位に広域化されることに伴い、保険税の計算方式を都内約8割の自治体が採用している均等割と所得割の2方式に改めるといったものです。

これによって、現在は医療分に、1世帯に6,000円かかっている平等割が廃止

され、一人当りにかかる均等割が一人24,000円から27,000円に値上げされます。

その結果、下表のように一人世帯は値下げに、二人世帯は変わらず、3人世帯以上は値上げになります。これは、低所得者の保険税軽減世帯でも同様です。

世帯人数ごとの増減額 (年額)				
	一般世帯	7割軽減世帯	5割軽減世帯	2割軽減世帯
1人世帯	-3000円	-900円	-1500円	-2400円
2人世帯	±0円	±0円	±0円	±0円
3人世帯	+3000円	+900円	+1500円	+2400円
4人世帯	+6000円	+1800円	+3000円	+4800円
5人世帯	+9000円	+2700円	+4500円	+7200円

低所得者世帯・多子世帯などへの市独自支援策を

国保運営協議会で日本共産党の清水とし子委員は、9月市議会で、国に対してさらなる低所得者対策と多子世帯への均等割額の軽減など、子育て世代の負担軽減を求める「国民健康保険制度における国の公費負担割合拡充及び子育て世代の負担軽減策に関する意見書」が全会一致で可決されたことを紹介しました。

そして、日野市の課税方式の見直し内容

は、低所得者世帯にも値上げを求め、多子世帯など家族の人数が多い世帯ほど負担が重くなるものになっており、意見書の求める方向と逆行していることを指摘し、低所得者と多子世帯への市独自の支援策を講じることを求めました。

今回の諮問内容は12月の国保運協で引き続き議論され、3月市議会に条例改正が提案される予定です。

日野市は国保税値上げをあきらめたわけではない

日野市は、国保運協の中で「平成27年度の法改正の趣旨をふまえて、計画に則った赤字の解消は必要」と説明しています。

これは、保険税を低く抑えるために日野市が投入している一般会計からの繰入金をやめ、その分国保税をあげていくということに他なりません。

東京都が行った試算では、そのためには一人当たりあと約3万8千円もの保険税の値上げが必要となります。

引き続き、保険税を抑えるための繰入金を維持し、値上げを行わないように、市民の運動を進めていくことが求められます。

畑だより・・・

冬野菜の収穫が始まりました。

大根は、二股になってしまいました。耕し方が足りなかったためかもしれません。

ねぎは、せっせと土寄せをし、追肥をやった成果がでて、太く育ちました。

